

海の家の健全化へ

県がガイドライン

民主党かながわクラブ
神奈川 県 議 団 早稲田^わ夕季^せ^だ^ゆ^き

厚生委で質問

近年、一部の海の家の夜間営業、騒音問題、風紀の乱れなど、県管理の公共の海岸が繁華街化している現状に、住民から苦情が絶えません。

5月15日に神奈川県は「海の家における海岸利用に関するガイドライン」を初めて策定し、各海水浴場組合にこれに基づく自主ルールを求めました。警察と連携してパトロールも強化します。

地元議員として、昨年から取り組んできた「海の家」の健全化に向けて一歩前進です。県は全庁的な検討会議で①ダンスイベント等の「クラブ化」の営業を行わない②騒音対策を行う③従業員の刺青・タトゥ等の露出は控える、などの指針を示しました。

一方、組合の自主ルールでは藤沢、逗子の営業時間は20時半、鎌倉は22時とばらつきも見られます。県はシーズン後に取り組み状況を検証し、効果が認められない場合には、法的な規制

も検討します。

子宮頸がん予防ワクチン

全国で重い副作用も報告されている子宮頸がん予防ワクチンについて、質問しました。4月から同ワクチンは定期予防接種となりましたが、厚生労働省は6月「積極的に勧めない」として、接種の勧奨を一時中止することを決定しました。保護者の判断に委ねるのではなく、安全性が確認されるまで接種を見合わせるべきと考えます。国からの本県における副作用の報告は3件としていますが、県内の副作用の実態把握と情報提供、相談体制の整備や受診しやすい検診体制の充実を要望しました。



厚生常任委員会・安全安心推進特別委員会

動画で質問の様態をご覧ください。

ホームページ

早稲田 夕季

検索

政務調査事務所

☎0467・24・0573